

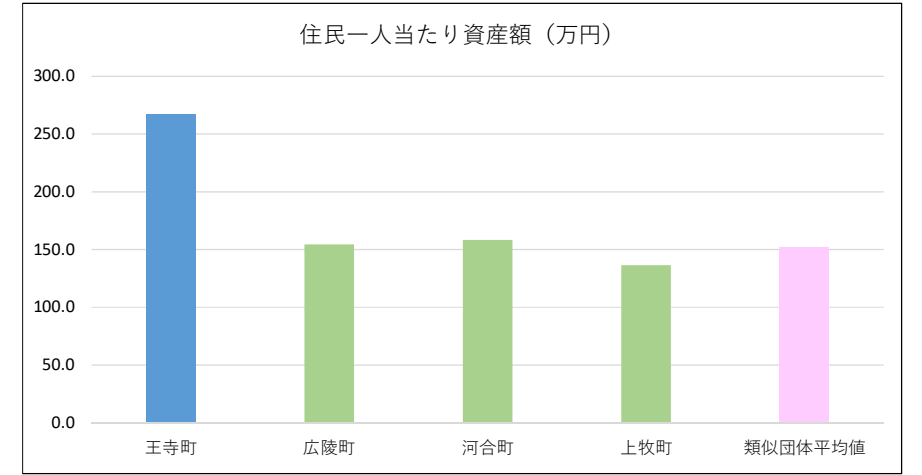
他団体比較(北葛城郡)

- ・総務省公表の令和6年度統一的な基準による財務書類に関する情報(各種指標)の数値を利用。
- ・王寺町と同じ奈良県北葛城郡の団体を対象とする。
- ・類似団体平均値は、上記資料のうち王寺町と同じ類似団体区分(町村Ⅴ－2)の団体(数値未掲載の1団体を除く98団体)の分子・分母の合計値から算出。

1. 資産の状況

①住民一人当たり資産額(万円)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
資産合計(万円)	6,339,721	5,409,028	2,631,000	2,883,826	
人口(人)	23,694	35,020	16,614	21,157	
当該値(万円)	267.6	154.5	158.4	136.3	152.0



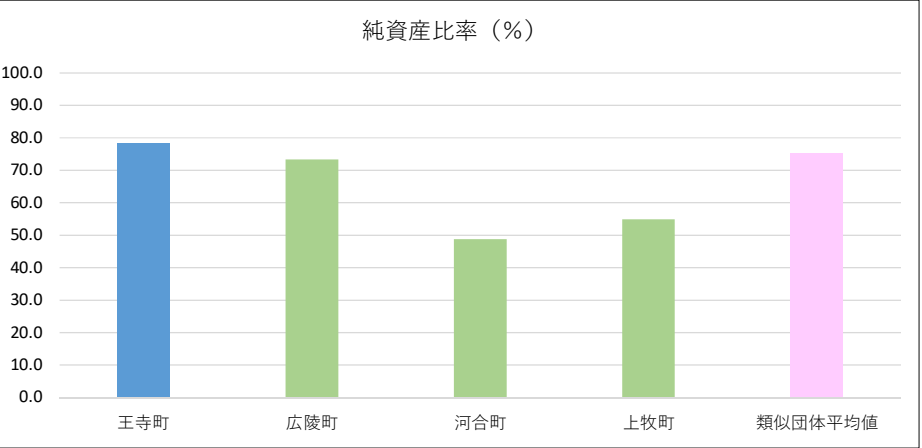
地方公共団体の保有する資産の合計額を人口で除して、住民一人当たりの資産額を表す指標。

- ・一概に高い方が良いとは言えない指標であり、資産の構成を見る必要がある。
- ・地方公共団体の場合、総資産のおよそ8割が施設やインフラ資産等の固定資産が占めている。
- ・これらの資産を維持しながら保有するためには、当然ながら更新費用が必要なため、適正な施設保有量であるか否かは考える必要がある。
- ・王寺町は他町、類似団体平均値と比較してかなり多い額となっている。
- ・基金残高が多いこと、また、義務教育学校の整備や公共施設の長寿命化など施設の更新を進めていることが数値の高い要因と考えられる。

2. 資産と負債の比率

④純資産比率(%)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
純資産(百万円)	49,734	39,692	12,847	15,834	
資産合計(百万円)	63,397	54,090	26,310	28,838	
当該値(%)	78.4	73.4	48.8	54.9	75.2

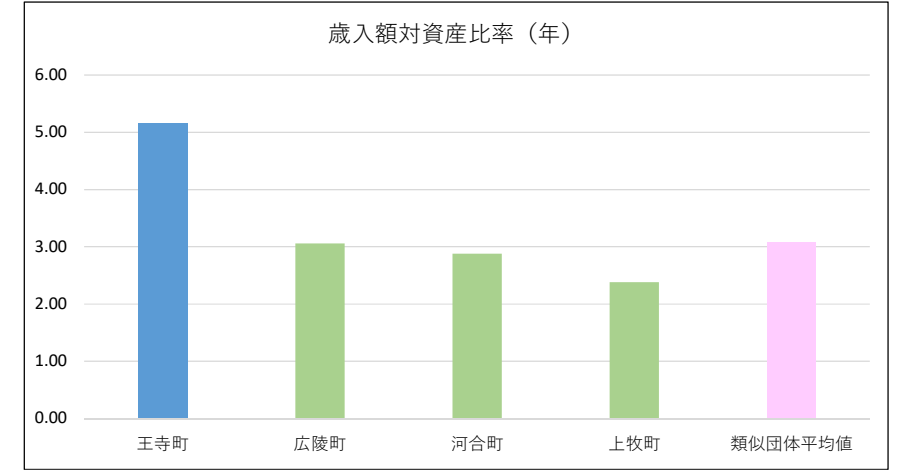


資産のストック情報(資産額)に対する純資産の比率を算出し、保有している有形固定資産等がどの世代の負担により行われたかを表す指標。

- ・基本的に高い方が良い指標である。
- ・純資産は過去世代の積み上げ数値となっているため、本指標が高い場合は良い財政を行ってきた結果と言える。
- ・今後、人口の減少が見込まれ税収減が想定されることから、公共施設への投資、地方債の発行等に留意し、高い水準を保つべきである。

②歳入額対資産比率(年)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
資産合計(百万円)	63,397	54,090	26,310	28,838	
歳入総額(百万円)	12,270	17,663	9,123	12,104	
当該値(年)	5.17	3.06	2.88	2.38	3.08



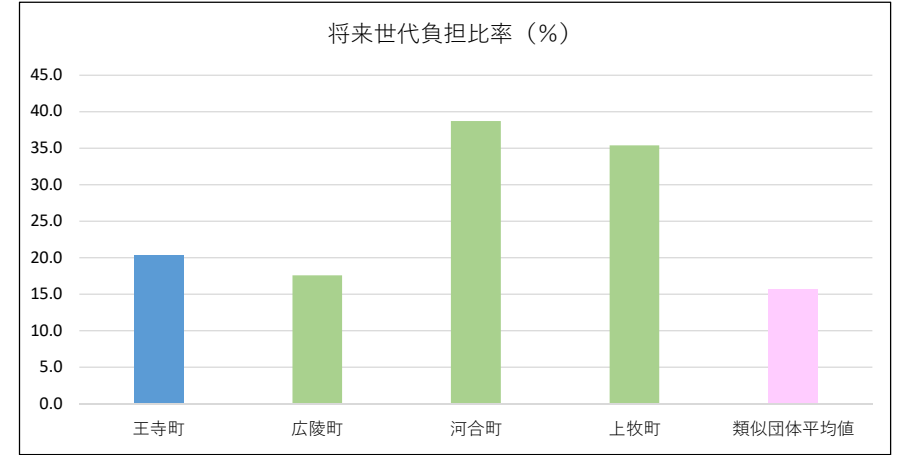
当該年度の歳入総額に対する資産合計の比率を算出し、これまでに形成されたストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するかを表す指標。

- ・本指標は「社会資本整備の度合いを示しているため、この比率が高いほど社会資本整備が進んでいると考えられる」と一般的に定義されている。
- ・しかし、一概に高い方が良いとは言えない指標である。
- ・歳入規模に対して過度の社会資本整備を行っている場合は、今後の維持負担が大きくなり将来の財政を逼迫する可能性があるので注意が必要である。
- ・王寺町は①同様、資産額が多いため、他町、類似団体平均値と比較して高い。

⑤将来世代負担比率(%)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
地方債残高(百万円) ※1	10,150	8,521	9,479	9,374	
有形・無形固定資産合計(百万円)	49,876	48,376	24,522	26,487	
当該値(%)	20.4	17.6	38.7	35.4	15.7

※1 特例地方債の残高を控除した後の額



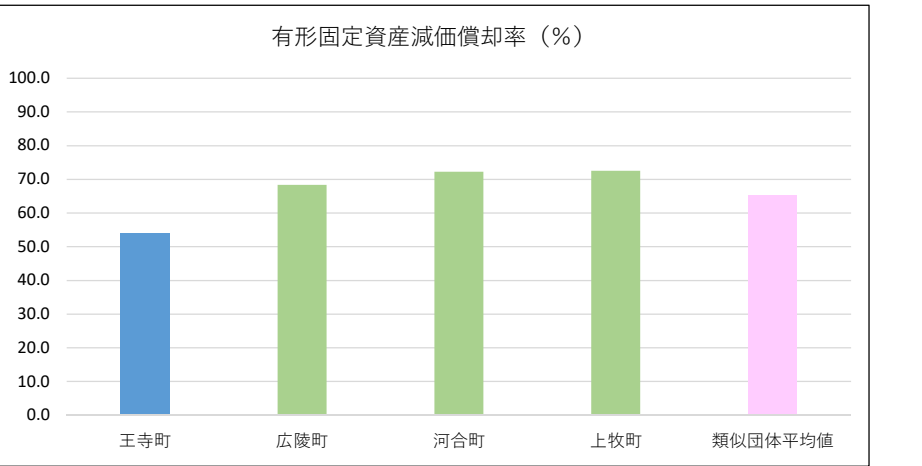
有形固定資産などの社会資本等に対して、財源のうち 将来の償還等が必要な負債による調達割合を算出し、社会資本等形成に係る将来世代の負担の程度を表す指標。

世代間公平性の観点からも当該数値が低い方が良いとは言えない指標であるが、今後、人口の減少が見込まれ税収減が想定される中、当該値は低いほうが望ましいと言える。

③有形固定資産減価償却率(%)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
減価償却累計額(百万円)	27,715	29,329	22,269	29,665	
有形固定資産(百万円) ※1	51,323	42,869	30,806	40,916	
当該値(%)	54.0	68.4	72.3	72.5	65.4

※1 有形固定資産合計－土地等の非償却資産＋減価償却累計額



地方公共団体が保有する有形固定資産のうち、償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の比率を算出し、資産の耐用年数に対して、資産の取得からどの程度経過しているかを表す指標。

- ・基本的に低い方が良い指標である。
- ・本指標は、公共施設や学校等の建替えや大規模改修が実施できず、老朽化が進んでいる場合に高くなる。
- ・王寺町は施設の更新を進めていることから、他町、類似団体平均値と比較して低い。

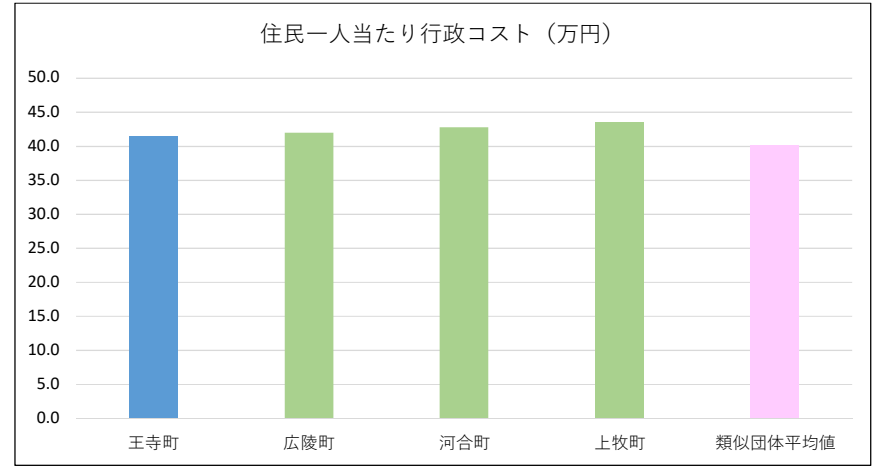
他団体比較(北葛城郡)

- ・総務省公表の令和6年度統一的な基準による財務書類に関する情報(各種指標)の数値を利用。
- ・王寺町と同じ奈良県北葛城郡の団体を対象とする。
- ・類似団体平均値は、上記資料のうち王寺町と同じ類似団体区分(町村Ⅴ－2)の団体(数値未掲載の1団体を除く98団体)の分子・分母の合計値から算出。

3. 行政コストの状況

⑥住民一人当たり行政コスト(万円)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
純行政コスト(万円)	983,521	1,470,009	711,800	922,403	
人口(人)	23,694	35,020	16,614	21,157	
当該値(万円)	41.5	42.0	42.8	43.6	40.1



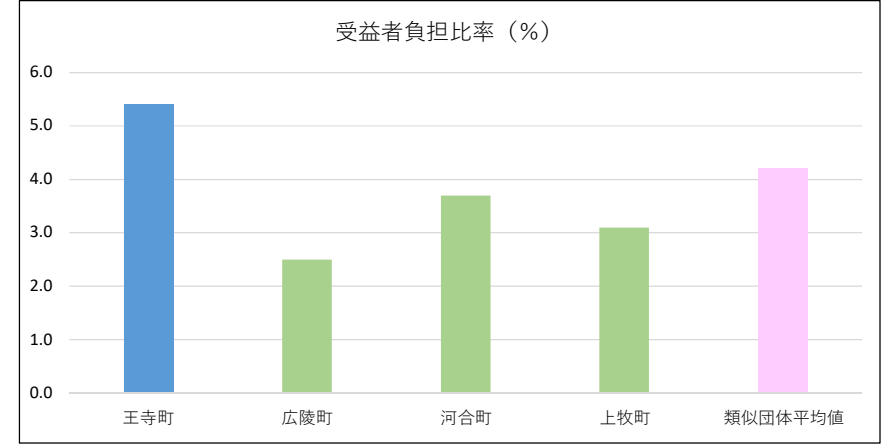
純行政コストを人口で除して、住民一人当たりの行政コストを表す指標。

- ・本指標は低いほど、効率的な行政活動を実施していると言える。
- ・王寺町は類似団体平均値より少し高い数値となっている。引き続き、物件費等の抑制、さらには財源の確保を課題とし、行政サービスの効率化を図っていく必要がある。
- ※「純行政コスト」とは・・・1会計年度期間において、資産形成に結びつかない行政活動に係る人件費、物件費、補助費等、経常的な費用から、その行政活動と直接対価性のある使用料、手数料などの経常的な収益を差し引いたものに、資産の除却、売却など随時的な損益を加えることで求められるもの。

5. 受益者負担の状況

⑨受益者負担比率(%)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
経常収益(百万円)	561	382	272	297	
経常費用(百万円)	10,305	15,084	7,368	9,570	
当該値(%)	5.4	2.5	3.7	3.1	4.2



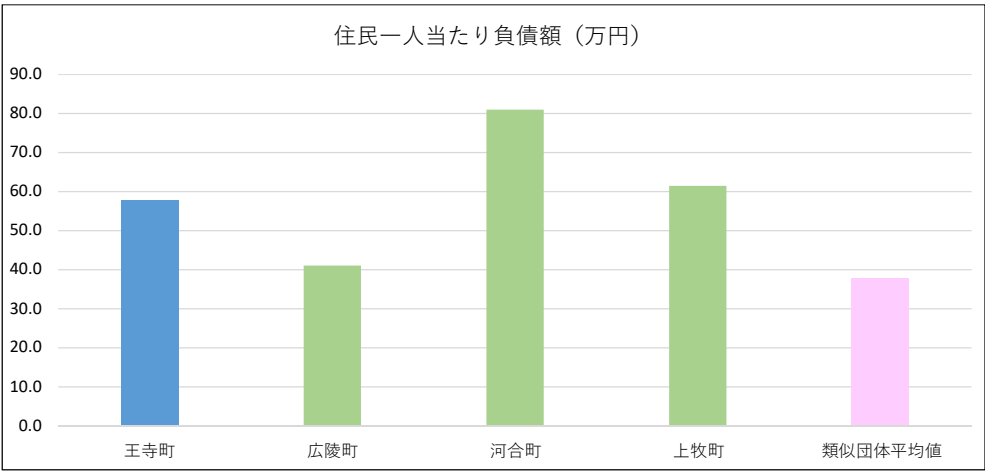
経常収益(使用料・手数料などの行政サービスに係る受益者負担の額)に対する 経常費用(行政サービス提供に係る負担)の比率を算出し、行政サービスの提供に対する受益者の直接的な負担の割合を表した指標。

- ・今後、人口の減少が見込まれ税収減が想定される中、当該値は基本高いほうが望ましい。
- ・王寺町では、北葛城郡3町、類似団体平均値よりも高くなっている。
- ・今後、各施設において、行政コストを把握のうえ、適正な使用料の設定や利用率を向上させる取組が必要である。

4. 負債の状況

⑦住民一人当たり負債額(万円)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	類似団体平均値
負債合計(万円)	1,366,315	1,439,875	1,346,200	1,300,421	
人口(人)	23,694	35,020	16,614	21,157	
当該値(万円)	57.7	41.1	81.0	61.5	37.7



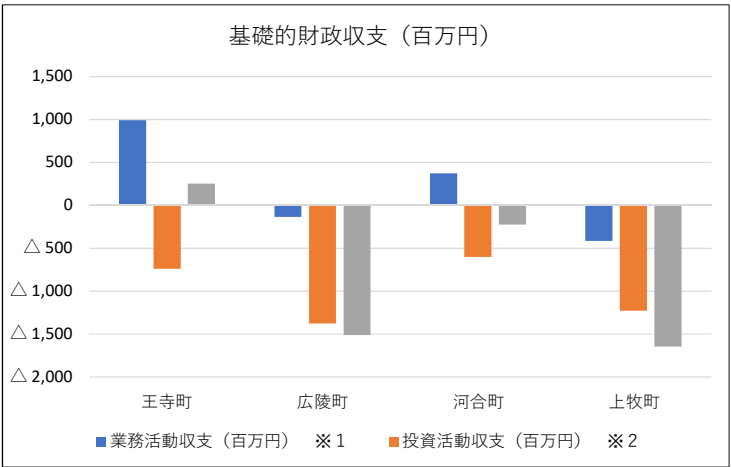
地方公共団体の保有する負債のストック情報(負債額)を住民基本台帳人口で除して、住民一人当たりの負債額を表す指標。

- ・当該値は低い方が望ましい。
- ・しかし、公共施設等に対して必要な老朽化対策があるにも関わらず、本指標が類似団体の平均等と比較して極端に低い場合は、必要な投資が行われていない可能性がある。
- ・王寺町は、類似団体平均値と比較して20万円多い57.7万円となっている。
- ・負債の主なものとは地方債で、負債総額の約88%を占めている。
- ・令和2年度までは本町一人当たり負債額は40万円前後で推移していたが、施設の更新や防災対策事業を進めたことにより、令和3年度以降は55万円前後で推移している。

⑧業務・投資活動収支(百万円)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町
業務活動収支(百万円) ※1	992	△ 136	373	△ 413
投資活動収支(百万円) ※2	△ 738	△ 1,376	△ 599	△ 1,231
当該値(百万円)	254	△ 1,512	△ 226	△ 1,644

※1 支払利息支出を除く。 ※2 基金積立金支出及び基金取崩収入を除く。



業務活動収支及び投資活動収支の合算額を算出し、その時点で必要とされる政策的経費をその時点の税収等でどれだけまかなえているかを表す指標。

- ・基本的に高い方が良い指標である。ただ一概に赤字が良くないとは言えない。
- ・公共施設の老朽化対策等の必要な投資を行った結果、投資活動収支が赤字になることもある。
- ・本指標は、単年度で判断するのではなく、経年で分析する必要がある。慢性的に赤字の場合は注意が必要である。
- ※業務活動収支・・・税収、補助金、使用料等の収入で、人件費、物件費、扶助費等経常的支出を賄えているか
- ※投資活動収支・・・公共施設等の整備や基金の積立等の投資的な活動に関する支出に対して国県等補助金や基金取崩しをどれだけ充当しているか